

## 職業と職業奉仕

私自身ロータリーに入会し、もう何年たっただろうか。

今回あらためて職業奉仕を問うと、自分自身どれだけ奉仕の意味を理解しているのか、改めて見直すいい機会になったと思いました。

本来、職業とは、自分の生業として生活するため、ビジネスとして当然対価を得て、「利益」を上げるための活動をする必要がある。

そして、その対に「職業奉仕」があり、職業と職業奉仕を両立していくことが、理想なのかと思います。

私は、自身の職業上、仕事をビジネスと割り切れない部分があり、業務の性質上職業すべてが職業奉仕にあたるように感じます。

ひとつの考え方として、企業は利益追求するために企業活動し、社員を雇用し社会に貢献している、また、同業他社と切磋琢磨し、よりよいもの生み出すことにより、社会生活の利便性に寄与し、経済活動することが純粹に職業奉仕と言えるものです。

自身の職業上、人のために確実に業務する必要性から、収益性や利潤の追求にとらわれない視点で職業奉仕しているつもりです。

つい最近の出来事として、メジャーリーグのワールドシリーズ決勝戦での出来事では、皆さんも感動したと思いますが、日本の山本由伸投手が、前日先発し、勝利投手となり、大活躍しました。

さらに、その翌日の試合が延長線になると、チームの勝利のためになんと、中0日で再登板するという無理をし、かつ勝ち切るという結果も残しました。

本来、プロ野球選手の立場を企業に置き換えてみると、前日自分の仕事は完了し、後は来季にそなえて、高みの見物でもいい立場と思います。それで充分プロフェッショナルに職業を完了しているのに、彼は、それをよしとせず、試合にのぞみました。

野球ファンを虜にし感動を人々に提供してくれました。

まさに、球団の勝利に貢献する職業奉仕であり、野球界に対する職業奉仕といえるのではと思いました。